

<p>砂に埋もれたル・コルビュジェ (原田マハ)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 主張と論拠など、情報の扱い方について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとする。 本文に叙述された本に対する思いを積極的に読み取り、自分にとって思い入れのある本を、根拠を示してまとめようとする。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文章の効果的な接続の仕方を理解する。 主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 <p>・教材…砂に埋もれたル・コルビュジェ (原田マハ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 等 	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 主張と論拠など、情報の扱い方について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 本文に叙述された本に対する思いを積極的に読み取り、自分にとって思い入れのある本を、根拠を示してまとめようとしている。 	○	○	○	3
<p>話し方の工夫</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使用する。 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使用する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとする。 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとする。 積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとする。 積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとする。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 <p>・教材…話し方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 等 	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。 積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとしている。 積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。 	○	○	○	3
<p>定期考査</p>				○	○		1

1
学
期

<p>水の東西（山崎正和）</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとする。</p>	<p>・指導事項 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p> <p>・教材…水の東西（山崎正和） ・一人1台端末の活用 等</p>		<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>論理分析【対比】 「間」の感覚（高階秀爾）</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・対比による論理構成を把握し、日本文化および日本人の行動様式の特徴を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとする。</p>	<p>・指導事項 ・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</p> <p>・教材…「間」の感覚（高階秀爾） ・一人1台端末の活用 等</p>		<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・対比による論理構成を把握し、日本文化および日本人の行動様式の特徴を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>待遇表現</p> <p>【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使用する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使用する。</p>	<p>・指導事項 ・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ・敬語表現が選択される視点を理解する。 ・相手や場に応じた表現が選択できるようにする。</p> <p>・教材…待遇表現 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。</p>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>				○	○		1

<p>論理分析【具体と抽象】日本語は世界をこのように捉える（小浜逸郎）</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二・三」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・主張（抽象）と具体例の関係を把握し、「いる」と「ある」の違いを理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめる。</p>	<p>・文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</p> <p>・教材…日本語は世界をこのように捉える（小浜逸郎） ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二・三」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・主張（抽象）と具体例の関係を把握し、「いる」と「ある」の違いを理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>無彩色の色（港千尋）</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明する。 ・本文中で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深める。</p>	<p>・指導事項 ・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・日本文化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p> <p>・教材…無彩色の色（港千尋） ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明しようとしている。 ・本文中で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深めようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>論理的な表現</p> <p>【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し使用する。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫する。 ・読み手の理解が得られるよう、根拠の示し方や論理の展開などを考えて、文章の構成や展開、表現を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係を理解し、学習課題に沿って話し合う。</p>	<p>・指導事項 ・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 ・説得力を意識した表現の仕方について理解する。</p> <p>・教材…論理的な表現 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し使っている。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫している。 ・読み手の理解が得られるよう、根拠の示し方や論理の展開などを考えて、文章の構成や展開、表現を工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>定期考査</p>				○	○		1

2 学 期	<p>現代の「世論操作」(林香里)</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。</p>	<p>・指導事項 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p> <p>・教材…現代の「世論操作」(林香里) ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>フェアな競争(内田樹)</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝える。 ・本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめる。</p>	<p>・指導事項 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p> <p>・教材…フェアな競争(内田樹) ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えようとしている。 ・本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめている。</p>	○	○	○	3
	<p>スピーチで自分を伝える</p> <p>【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使用する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集して、伝える内容を検討する。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 ・話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げ深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行う。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとする。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用し評価を行う。</p>	<p>・指導事項 ・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。</p> <p>・教材…スピーチで自分を伝える ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集して、伝える内容を検討している。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 ・話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。</p>	○	○	○	4

<p>書き方の基礎レッスン</p> <p>【知識及び技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使う。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し使う。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解し使う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書く。 ・学習の見通しをもって接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぶ。 ・効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>・指導事項 ・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。 ・比喩などの表現技法を理解する。</p> <p>・教材…書き方の基礎レッスン ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使っている。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し使っている。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解し使っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。 ・学習の見通しをもって接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぼうとしている。 ・効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。</p>	○	○	4
<p>定期考査</p>				○	○	1
<p>夢十夜（夏目漱石） 文学のしるべ</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p> <p>・教材…夢十夜（夏目漱石） ・一人1台端末の活用 等</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとする。 ・「第一夜」あるいは「第六夜」で解釈した内容をまとめ、表現を工夫しながら積極的にコラム記事を書こうとする。</p>	<p>・指導事項 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。</p> <p>・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p> <p>・教材…夢十夜（夏目漱石） ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 ・「第一夜」あるいは「第六夜」で解釈した内容をまとめ、表現を工夫しながら積極的にコラム記事を書こうとしている。</p>	○	○	3
<p>論理分析【推論】 AIは哲学できるか（森岡正博）</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・推論によって結論を導く論の展開を把握し、AIは哲学できるかについての筆者の考えを理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・帰納法で推論する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめる。</p>	<p>・指導事項 ・文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。</p> <p>・教材 AIは哲学できるか（森岡正博） ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・推論によって結論を導く論の展開を把握し、AIは哲学できるかについての筆者の考えを理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・帰納法で推論する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。</p>	○	○	3

3 学 期	<p>日本の労働問題に関わる資料を読み比べる</p> <p>【知識及び技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・複数の図表を粘り強く読み取り、理解したことを学習課題に沿ってまとめる。 ・複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめる。</p>	<p>・指導事項 ・労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の情報を関連づけて理解したことをまとめる。 ・文章や図表に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・図表等を読み、理解したことをまとめる。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する方法を学ぶ。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解し、活用する。</p> <p>・教材…日本の労働問題に関わる資料を読み比べる ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	○	3
	<p>相手に伝わる案内をする</p> <p>【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴などを踏まえ、正確さ、分かりやすさなどに配慮した言葉遣いについて理解し使用する。 ・情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使用する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫する。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じる。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話す。 ・積極的に来場者役や評価者を務め、評価の観点に沿って評価を行う。</p>	<p>・指導事項 ・目的に沿って的確に案内する方法を理解する。 ・相手に配慮しながら案内する方法を理解する。 ・相手や場の状況を押さえて案内することができる。</p> <p>・教材…相手に伝わる案内をする ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	○	4
	<p>合意形成のための話し合いを行う</p> <p>【知識及び技能】 ・分かりやすさなどに配慮した言葉遣いについて理解し使用する。 ・情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使用する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、話の構成を工夫する。 ・資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 ・話し合いを振り返り、評価する。 ・話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解する。 ・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出す。 ・積極的に話し合いを振り返り、今までの学習を生かして評価を行う。</p>	<p>・指導事項 ・話し合いの進め方のルールを理解する。 ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践する。</p> <p>・教材…合意形成のための話し合いを行う ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	○	4
定期考査						○	○	1
合計								70

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1・3・5組：森永千帆）（7組：栗田恵利子）（2・4・6・8組：松谷大吾）

使用教科書：（精選 言語文化（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書 読					
<p>古文の学習</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 我が国の言語文化の特質について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもつ。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 <p>・教材・古文の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 等 	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 我が国の言語文化の特質について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。 	○	○	○	4
<p>児のそら寝</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合う。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 <p>・教材・児のそら寝</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 等 	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 	○	○	○	4
<p>絵仏師良秀</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉える。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 <p>・教材…絵仏師良秀</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 等 	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取っている。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。 	○	○	○	4

1 学期

<p>伊勢物語</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものを見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。</p>	<p>・指導事項 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「東下り」では課題に応じて調査する。 ・「芥川」では絵画資料と、「東下り」では他の章段と、「筒井筒」では『大和物語』の同話と、それぞれ読み比べ、解釈を深める。 ・「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。</p> <p>・教材…伊勢物語 〔歴史の窓〕 ・一人1台端末の活用 等</p>		<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。</p>	○	○	○ 6
<p>漢文の学習</p> <p>【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深める。</p>	<p>・指導事項 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</p> <p>・教材 漢文の学習 ・一人1台端末の活用 等</p>		<p>【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めている。</p>	○	○	○ 3
<p>訓読に親しむ</p> <p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。</p>	<p>・指導事項 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 ・故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・訓読のきまりを理解する。</p> <p>・教材 訓読に親しむ漢文を読むために ・一人1台端末の活用 等</p>		<p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。</p>	○	○	○ 3
<p>定期考査</p>						1

2 学 期	<p>徒然草</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合う。</p>	<p>・指導事項 ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「花は盛りに」では課題に応じて調査する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。</p> <p>・教材…徒然草 ・一人1台端末の活用 等</p>		<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解いている。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合うとしている。</p>	○ ○ ○	5
	<p>古今和歌集</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・掛詞・縁語・見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、発展期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・和歌の修辭技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉える。</p>	<p>・指導事項 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、発展期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容的に表現された情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 ・主として掛詞・縁語・見立てなどの和歌の修辭について、文語のきまりを理解する。</p> <p>・教材 古今和歌集 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・掛詞・縁語・見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、発展期の和歌の特色を捉えている。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 和歌の修辭技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。</p>	○ ○ ○	4
	<p>言語活動 古典の和歌を現代の言葉で書き換える</p> <p>【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 ・自分の思いが効果的に伝わるよう、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する。 ・文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換える。</p>	<p>・指導事項 ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・和歌を書き換えて、互いの解釈を比べ合う。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。</p> <p>・教材 言語活動 古典の和歌を現代の言葉で書き換える ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 我が国の言語文化の特質について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 自分の思いが効果的に伝わるよう、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換えるようとしている。</p>	○ ○ ○	3
定期考査						1

3
学
期

<p>平家物語</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解する。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりする。</p>	<p>・指導事項 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 ・「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。</p> <p>・教材…平家物語 ・一人1台端末の活用 等</p>		<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解している。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>言語活動 折句を用いて短歌を作る</p> <p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、折句を用いて表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作する。</p>	<p>・指導事項 ・折句を用いて、感じたことを短歌で表す。 ・我が国の言語文化に特徴的な折句の表現の技法とその効果について理解する。</p> <p>・教材…言語活動 折句を用いて短歌を作る ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、折句を用いて表現の仕方を工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作しようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>城の崎にて (志賀直哉)</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとする。</p>	<p>・指導事項…三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。</p> <p>・教材…城の崎にて (志賀直哉) ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深めている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>唐詩の世界</p> <p>【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。</p> <p>・教材 唐詩の世界 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>・指導事項 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。</p> <p>・教材 唐詩の世界 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>							1
							合計
							70

1
学
期

<p>・「動物と植物の違い」に関する文章を600字くらいで書き、このユニットで学んだことを整理し、文章にまとめる。</p>	<p>・再度第1回の作文をペアで読み、改善点を指摘しあう。</p>	<p>・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。</p>				○	
	<p>・指摘された改善点を踏まえて、再度作文の構想メモを作成する。</p>	<p>・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。</p>				○	
	<p>・600字程度で作文を執筆する。</p>	<p>・文章を書く際に、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記することができる。</p>				○	
		<p>・文章を書く際に、段落や句読点などを適切に使用することができる。</p>				○	
		<p>・よりよい表現はあるが、自分の言いたいことを首尾一貫させて述べることができる。</p>				○	
		<p>・わからない言葉があっても違う言葉で説明ができる。</p>				○	
		<p>・簡単な表現が多いが、自分の言いたいことをはっきりさせて文章を書くことができる。</p>				○	
	<p>・「動物と植物の違い」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。</p>				○		
<p>単元：熱中症</p>							
<p>・「熱中症」に関する文章を600字くらいで書き、生徒個人がこのユニットの課題をつかむ。</p>	<p>・「熱中症」に関するブレインストーミング</p>						
	<p>・「熱中症」に関する600字程度の作文執筆</p>	<p>・わからない言葉を母語や簡単な表現を用いて説明ができる。</p> <p>・作文後の振り返りに不明点や疑問点を記載している。</p>				○	1
<p>・熱中症の症状に関する文章を読み、それぞれの特徴を整理する。</p>	<p>・熱中症の症状に関する文章を読み、症状と危険度と対処法を理解する。</p>	<p>・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。</p> <p>・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしながら必要な情報を探することができる。</p>				○	1
	<p>・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。</p>	<p>・文章を要約して簡潔に説明することができる。</p>				○	
<p>・熱中症について「原因や手段を表す表現（で・によって）」や「書き言葉でよく使われる表現（運用中止）」を用いて説明できる。</p>	<p>・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。</p>	<p>・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。</p>				○	1
	<p>・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。</p>	<p>・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、熱中症の症状について簡潔に説明することができる。</p>				○	
<p>熱中症について、違いを明確にし、例をあげながら300字程度説明する文章を書くことができる。</p>	<p>・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。</p>	<p>・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。</p> <p>・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。</p>				○	1
	<p>・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。</p>	<p>・「熱中症」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。</p>				○	
<p>・汗と血液の関係に関する文章を読み、違いを理解する。</p>	<p>・汗と血液の関係に関する文章を読み、動物と植物の構造の違いを理解する。</p>	<p>・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。</p>				○	1
	<p>・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。</p>	<p>・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしながら必要な情報を探することができる。</p> <p>・文章を要約して簡潔に説明することができる。</p>				○	
<p>・汗と血液の関係について「詳しく説明する表現（名詞修飾）」や「客観的な事実を表す表現」を用いて説明できる。</p>	<p>・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。</p>	<p>・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。</p>				○	1
	<p>・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。</p>	<p>・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。</p>				○	
<p>・動物と植物の「からだの構造の違い」について、違いを明確にし、例をあげながら300字程度説明する文章を書くことができる。</p>	<p>・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。</p>	<p>・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。</p> <p>・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。</p>				○	1
	<p>・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。</p>	<p>・文章を要約して簡潔に説明することができる。</p>				○	
<p>・「熱中症」に関する文章を600字くらいで書き、このユニットで学んだことを整理し、文章にまとめる。</p>	<p>・再度第1回の作文をペアで読み、改善点を指摘しあう。</p>	<p>・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。</p>					○
	<p>・指摘された改善点を踏まえて、再度作文の構想メモを作成する。</p>	<p>・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。</p>					○
	<p>・600字程度で作文を執筆する。</p>	<p>・文章を書く際に、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記することができる。</p>					○
		<p>・文章を書く際に、段落や句読点などを適切に使用することができる。</p>					○
		<p>・よりよい表現はあるが、自分の言いたいことを首尾一貫させて述べることができる。</p>					○
		<p>・わからない言葉があっても違う言葉で説明ができる。</p>					○
		<p>・簡単な表現が多いが、自分の言いたいことをはっきりさせて文章を書くことができる。</p>					○
	<p>・「熱中症」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。</p>					○	

単元：未成年者の飲酒禁止						
・「子どもの飲酒禁止」に関する文章を600字くらいで書き、生徒個人がこのユニットの課題をつかむ。	・「子どもの飲酒禁止」に関するブレインストーミング				1	
	・「動物と植物の違い」に関する600字程度の作文執筆	・わからない言葉を母語や簡単な表現を用いて説明ができる。 ・作文後の振り返りに不明点や疑問点を記載している。	○	○		
・植物と動物の「子どもの飲酒禁止」に関する文章を読み、違いを理解する。	・「子どもへのアルコールの影響」に関する文章を読み、予期される悪影響を理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。 ・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしなが ら必要な情報を探ることができる。	○	○	1	
	・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		
・「子どもの飲酒禁止」について「仮定の話をする表現」や「文章構成（序論・本論・結論）」などの知識を用いて説明できる。	・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○		1	
	・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。		○		
・「子どもへのアルコールの影響」について、プロセスを明確しながら300字程度説明する文章を書くことができる。	・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。 ・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。		○	1	
	・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。	・「動物と植物の違い」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。		○		
・「からだの発達とアルコール」に関する文章を読み、違いを理解する。	・「からだの発達とアルコール」に関する文章を読み、アルコールが分解される仕組みを理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○		1	
	・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしなが ら必要な情報を探することができる。		○		
		・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		
・「急性アルコール中毒」について「可能性を表す表現」や「順番を表す表現」を用いて説明できる。	・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○		1	
	・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。		○		
・「からだの発達とアルコール」について、働きや仕組みについて簡潔に300字程度説明する文章を書くことができる。	・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。 ・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。		○	1	
	・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。	・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		
・「子どもの飲酒禁止」に関する文章を600字くらいで書き、このユニットで学んだことを整理し、文章にまとめる。	・再度第1回の作文をペアで読み、改善点を指摘しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。		○	1	
	・指摘された改善点を踏まえて、再度作文の構想メモを作成する。	・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。		○		
	・600字程度で作文を執筆する。	・文章を書く際に、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記することができる。		○		
		・文章を書く際に、段落や句読点などを適切に使用することができる。		○		
		・よりよい表現はあるが、自分の言いたいことを首尾一貫させて述べることができる。		○		
		・わからない言葉があっても違う言葉で説明ができる。		○		
	・簡単な表現が多いが、自分の言いたいことをはっきりさせて文章を書くことができる。		○			
	・「子どもの飲酒禁止」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。	○				

単元：地球温暖化						
・「地球温暖化」に関する文章を600字くらいで書き、生徒個人がこのユニットの課題をつかむ。	・「地球温暖化」に関するブレインストーミング				1	
	・「地球温暖化」に関する600字程度の作文執筆	・わからない言葉を母語や簡単な表現を用いて説明ができる。 ・作文後の振り返りに不明点や疑問点を記載している。	○	○		
・地球温暖化の3つの影響に関する文章を読み、特徴を整理する。	・地球温暖化に関する文章を読み、海の変化と地域による影響の違いを理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○		1	
	・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしなが ら必要な情報を探ることができる。 ・文章を要約して簡潔に説明することができる。	○	○		
・地球温暖化について「変化を表す表現」や「原因を表す表現」を用いて説明できる。	・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○		1	
	・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。		○		
2 学 期	・地球温暖化の「定義」と「影響」について、資料を見て、300字程度説明する文章を書くことができる。	・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。		○	1
		・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	
		・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。	・「地球温暖化」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。		○	
・白神山に関する文章を読み日本の森林がどのような問題に直面しているかを理解する。	・地球温暖化に関する文章を読み、気候と自然の関係の違いを理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○		1	
		・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしなが ら必要な情報を探ることができる。 ・文章を要約して簡潔に説明することができる。	○		○
		・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○		
・地球温暖化について「違いを表す表現（一方）」や「例を挙げる表現」、「変化を表す表現」を用いて説明できる。	・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。		○	1	
		・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○
・地球温暖化と自然環境について、関係を明確にし、例をあげながら300字程度説明する文章を書くことができる。	・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。	・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○	1	
		・再度第1回の作文をペアで読み、改善点を指摘しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○
		・指摘された改善点を踏まえて、再度作文の構想メモを作成する。	・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○
・「地球温暖化」に関する文章を600字くらいで書き、このユニットで学んだことを整理し、文章にまとめる。	・601字程度で作文を執筆する。	・文章を書く際に、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記することができる。		○	1	
		・文章を書く際に、段落や句読点などを適切に使用することができる。	○			
		・よりよい表現はあるが、自分の言いたいことを首尾一貫させて述べることができる。		○		
		・わからない言葉があっても違う言葉で説明ができる。		○		
		・簡単な表現が多いが、自分の言いたいことをはっきりさせて文章を書くことができる。		○		
		・「地球温暖化」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。	○			
・「動物と植物の違い」に関する文章を600字くらいで書き、生徒個人がこのユニットの課題をつかむ。	・「動物と植物の違い」に関するブレインストーミング				1	
	・「動物と植物の違い」に関する600字程度の作文執筆	・わからない言葉を母語や簡単な表現を用いて説明ができる。 ・作文後の振り返りに不明点や疑問点を記載している。		○		
・植物と動物の「栄養の取り方の違い」に関する文章を読み、違いを理解する。	・植物と動物の違いに関する文章を読み、動物はほかの生物から、植物は自ら栄養を生成すること理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○		1	
		・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしなが ら必要な情報を探ることができる。	○			
		・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を要約して簡潔に説明することができる。			○

<p>・植物と動物の違いについて「違いを表す表現（～に対して）」や「恒常性を表す表現（ている）」を用いて説明できる。</p>	<p>・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。</p>	<p>・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。</p>	○			1
	<p>・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。</p>	<p>・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。</p>		○		
<p>・動物と植物の「栄養の取り方」について、違いを明確にし、例をあげながら300字程度説明する文章を書くことができる。</p>	<p>・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。</p>	<p>・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。</p>			○	1
		<p>・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。</p>			○	1
	<p>・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。</p>	<p>・「動物と植物の違い」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。</p>		○		
<p>・植物と動物の「からだの構造の違い」に関する文章を読み、違いを理解する。</p>	<p>・植物と動物の違いに関する文章を読み、動物と植物の構造の違いを理解する。</p>	<p>・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。</p>	○			1
	<p>・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。</p>	<p>・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしながら必要な情報を探ることができる。</p>	○			1
		<p>・文章を要約して簡潔に説明することができる。</p>		○		
<p>・植物と動物の違いについて「違いを表す表現（一方）」や「例を挙げる表現」、「変化を表す表現」を用いて説明できる。</p>	<p>・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。</p>	<p>・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。</p>	○			1
	<p>・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。</p>	<p>・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。</p>		○		1
<p>・動物と植物の「からだの構造の違い」について、違いを明確にし、例をあげながら300字程度説明する文章を書くことができる。</p>	<p>・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。</p>	<p>・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。</p>			○	1
		<p>・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。</p>			○	1

単元：バイオテクノロジー					
<p>・「バイオテクノロジー」に関する文章を600字くらいで書き、生徒個人がこのユニットの課題をつかむ。</p>	<p>・「バイオテクノロジー」に関するブレインストーミング</p>				1
	<p>・「バイオテクノロジー」に関する600字程度の作文執筆</p>	<p>・わからない言葉を母語や簡単な表現を用いて説明ができる。</p> <p>・作文後の振り返りに不明点や疑問点を記載している。</p>	○	○	
<p>・遺伝子組み換え技術に関する文章を読み、特徴を整理する。</p>	<p>・遺伝子組み換え技術に関する文章を読み、海の変化と地域による影響の違いを理解する。</p>	<p>・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。</p>	○		1
		<p>・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしなが ら必要な情報を探ることができる。</p>	○		1
<p>・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。</p>	<p>・文章を要約して簡潔に説明することができる。</p>		○		1
		<p>・遺伝子組み換え技術について「変化を表す表現」や「原因を表す表現」を用いて説明できる。</p>	<p>・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。</p>	○	
<p>・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。</p>	<p>・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。</p>		○		1
		<p>・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。</p>	<p>・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。</p>		○
<p>・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。</p>	<p>・「バイオテクノロジー」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。</p>		○		1
		<p>・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。</p>	<p>・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。</p>		○
<p>・遺伝子組み換え技術の利点に関する文章を読み日本の森林がどのような問題に直面しているかを理解する。</p>	<p>・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。</p>	<p>・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。</p>	○		1
		<p>・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしなが ら必要な情報を探ることができる。</p>	○	○	1
<p>・文章を要約して簡潔に説明することができる。</p>	<p>・遺伝子組み換え技術の利点について「実現が困難であることを表す表現」を用いて説明できる。</p>	<p>・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。</p>	○		1
		<p>・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。</p>		○	1
<p>遺伝子組み換え技術の利点を、例をあげながら300字程度説明する文章を書くことができる。</p>	<p>・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。</p>	<p>・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。</p>		○	1
		<p>・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。</p>		○	1
<p>・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。</p>	<p>・文章を要約して簡潔に説明することができる。</p>		○		1
		<p>・「バイオテクノロジー」に関する文章を600字くらいで書き、このユニットで学んだことを整理し、文章にまとめる。</p>	<p>・再度第1回の作文をペアで読み、改善点を指摘しあう。</p>		○
<p>・指摘された改善点を踏まえて、再度作文の構想メモを作成する。</p>	<p>・601字程度で作文を執筆する。</p>	<p>・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。</p>		○	1
		<p>・文章を書く際に、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記することができる。</p>		○	1
<p>・文章を書く際に、段落や句読点などを適切に使用することができる。</p>	<p>・よりよい表現はあるが、自分の言いたいことを首尾一貫させて述べることができる。</p>		○		1
		<p>・わからない言葉があっても違う言葉で説明ができる。</p>		○	1
<p>・簡単な表現が多いが、自分の言いたいことをはっきりさせて文章を書くことができる。</p>	<p>・「バイオテクノロジー」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。</p>		○		1
			○		1
					74

3
学
期

府中西 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

理科 科目 生物基礎

教科： 理科 科目： 生物基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 高等学校 新課程 生物基礎 （第一学習社） ）

教科 理科 の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】現象を理解し、観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標： 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 生物の特徴 1. 生物の共通性 ①生物の多様性と共通性 観察1 さまざまな生物を観察して共通する特徴を探そう 実験1 DNAの抽出 ②生物の共通性の由来 資料1 脊椎動物を例に生物が共通する特徴をもつ理由を考えよう	生物の共通性と多様性 ・生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解すること。	【知識及び技能】 ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実に 行う。	○	○	○	2
	2. 生物とエネルギー ①生物とエネルギー 資料2 光の有無が植物の生育に与える影響について考えよう ②代謝とATP 資料3 ATPの役割について考えよう ③代謝と酵素 実験2 酵素カタラーゼの働き	細胞とエネルギー ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解すること。	【知識及び技能】 ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実に 行う。	○	○	○	10
	第2章 遺伝子とその働き 1. 遺伝子の本体と構造 ①遺伝情報とDNA 資料4 DNAの塩基どうしの結合にみられる特徴について考えよう 演習1 DNAの分子モデルを作製してみよう ②DNAの複製と分配 資料5 DNAの複製のしくみを考えよう 演習2 DNAの半保存的複製を再現してみよう 観察2 細胞周期の各時期にかかる時間の推定	・DNAが全ての生物が共通してもつ遺伝子の本体であることを知る。	【知識及び技能】 ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実に 行う。	○	○	○	8
	2. 遺伝情報とタンパク質 ①遺伝情報とタンパク質 資料6 DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係を考えよう ②転写と翻訳 演習3 mRNAが指定するアミノ酸配列を読み取ってみよう ③遺伝子とゲノム 観察3 だ腺染色体の観察	・DNAの遺伝情報はRNAを経て、タンパク質となることを知る。	【知識及び技能】 ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実に 行う。	○	○	○	10
2 学 期	第3章 ヒトのからだの調節 1. 情報の伝達と体内環境の維持 ①恒常性と神経系 実験3 踏み台昇降運動を行って、心拍数の変化を測定しよう ②恒常性と内分泌系 ③体内環境を調節するしくみ 資料7 血糖濃度とホルモン濃度の関係を考察しよう 資料8 血糖濃度の調節と自律神経系の関わりについて考えよう ④血液凝固	体液には血液・リンパ液・組織液があり、体内環境を形成していることを知る。	【知識及び技能】 ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実に 行う。	○	○	○	10
	2. 免疫 ①生体防御 資料9 白血球の働きについて考えよう 観察4 食作用の観察 ②自然免疫 ③獲得免疫 資料10 同じ感染症にかかりにくい理由を抗体産生量の変化から考えよう 演習4 免疫の流れを説明してみよう ④自然免疫と獲得免疫の特徴 ⑤免疫と生活	・生体防御の仕組みについて様々なものがあることを知る。	【知識及び技能】 ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実に 行う。	○	○	○	10

3 学 期	<p>第4章 植生と遷移</p> <p>1. 植生と遷移</p> <p>①植生と環境の関わり</p> <p>観察5 植生と光・土壌の関係を調べよう</p> <p>観察6 陽葉と陰葉の断面の観察</p> <p>②遷移のしくみ</p> <p>資料11 伊豆大島の調査結果から遷移の要因を考察しよう</p> <p>2. バイオーム</p> <p>①遷移とバイオーム</p> <p>資料12 バイオームの分布を決める要因について考えよう(1)</p> <p>資料13 バイオームの分布を決める要因について考えよう(2)</p>	<p>・陸上には気候に応じて様々な植生が存在していることを知り、その植生が不変でないことを知る。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実にを行う。 	○	○	○	10
	<p>第5章 生態系とその保全</p> <p>1. 生態系と生物の多様性</p> <p>①生態系の成り立ち</p> <p>観察7 土壌生態系を構成する生物とその環境について調べよう</p> <p>観察8 環境の違いと種の多様性に関連があるか調べよう</p> <p>②生態系における生物どうしの関わり</p> <p>資料14 上位の栄養段階の生物が生態系に与える影響について考えよう</p>	<p>・生態系は生物と非生物的環境からなることと、その中で炭素や窒素などの物質が循環していることを知る。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実にを行う。 	○	○	○	10
						合計	70

年間授業計画 新様式

府中西 高等学校 令和8年度(1学年用) 教科

保健体育 科目 体育

教科: 保健体育

科目: 体育

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組～ 8 組 女子

教科担当者: 都竹・浅井・廣中

使用教科書: 現代高等保健体育(大修館)

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	体づくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	・体ほぐしの運動 緊張したり、緊張を解いて脱力したりする運動を行い、気づいたり関わりあったりする。 ・実生活に生かす運動の計画 運動やスポーツの場面で必要とされる体の動きを高めるための運動の計画を立てて取り組む。	(知識・技能) 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながることを理解できる。 (思考・判断・表現) 仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 (態度) 体づくり運動の学習に自主的に取り組み、運動計画を立てるなどの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	6
	ダンス(現代的なリズムのダンス) 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方や運動観察の方法などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができるようにする。	・簡単なリズムの取り方や動きで、音楽のリズムに同調したり、体幹部を中心としたシンプルに弾む動きをしたりして自由に踊る。 ・リズムや音楽に合わせて、独自のリズムパターンや動きの連続や群の構成でまとまりを付けて踊る。	(知識・技能) リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。 (思考・判断・表現) 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (態度) ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることができる。	○	○	○	6
	球技(テニス) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・安定したボール操作や状況に応じたボール操作(サーブ・ストローク) ・作戦に応じたゲーム練習	(知識・技能) テニスの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 (思考・判断・表現) 体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 (態度) 分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	10
	陸上競技(三種競技) 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身につけることができるようにする。	(走) ハードル走 (跳) ジャベリックスロー (投) 走り幅跳び の三種目についての技能の習得と記録会	(知識・技能) 陸上競技で用いられる技術の名称と、記録向上につながる動きのポイントを理解することができる。 (思考・判断・表現) 動きの習得に適した練習方法を選び、話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 (態度) 危険を理解して安全に留意して実施し、勝敗を受け入れ、ルールやマナーを守って活動することができる。	○	○	○	10
2 学 期	水泳 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようにする。	クロール・平泳ぎ ・水をとらえたプルとリズムカルなキックの練習 ・手を前に戻すリカバリーと抵抗の少ない足の引き付けとキック ・50～200m程度の距離を泳ぎながらのコンビネーション	(知識・技能) 水泳の各種目で用いられる技術の名称と効率的に泳ぐためのポイントを理解することができる。 (思考・判断・表現) 動きを比較して課題を見つけ、知識や技能を活用し応用して練習したり、計画を立てることができる。 (態度) 一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。	○	○	○	8
	器械運動 できる楽しさや喜びを味わい、運動の観察の方法や体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技をすることができるようにする。	回転系 接転技群 前転グループ 開脚前転、倒立前転、伸膝前転 接転技群 後転グループ 開脚後転、伸膝後転、後転倒立 ほん転技群 倒立	(知識・技能) 器械運動の技の名称と合理的な動き方のポイント、系統ごとの共通性を理解することができる。 (思考・判断・表現) 技に必要な準備/補助運動を選び、体調や環境に応じた適切な練習方法などについて振り返ることができる。 (態度) 一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。	○	○	○	10
	ダンス(現代的なリズムのダンス) 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方や運動観察の方法などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができるようにする。	・簡単なリズムの取り方や動きで、音楽のリズムに同調したり、体幹部を中心としたシンプルに弾む動きをしたりして自由に踊る。 ・リズムや音楽に合わせて、独自のリズムパターンや動きの連続や群の構成でまとまりを付けて踊る。	(知識・技能) リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。 (思考・判断・表現) 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (態度) ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることができる。	○	○	○	12
	球技(バレーボール) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにする。 ・ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返す ・チームの作戦に応じたゲーム練習	(知識・技能) バレーボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 (思考・判断・表現) 体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 (態度) 分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	12
3 学 期	体育理論 スポーツの発祥と発展 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解できるようにする。	・スポーツの始まりと変遷・文化としてのスポーツ・オリンピックとパラリンピックの意義・スポーツが経済に及ぼす効果・スポーツの高潔さとドーピング・スポーツと環境	(知識・技能) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できる。 (思考・判断・表現) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えることができる。 (態度) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について自主的に取り組むことができる。	○	○	○	6
	陸上競技(長距離走) 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、長距離走の技能を身につけることができるようにする。	時間走と約3000mのタイムトライアル 自己に適したペース走の練習 目標タイムの設定とスピード走の練習と記録会	(知識・技能) 長距離走に必要な体力要素があり、関連させた練習で技能や体力を高められることを理解できる。 (思考・判断・表現) これまで学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てることができる。 (態度) 自分の役割に主体的に取り組み、練習や競争、仲間との話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	15
球技(バスケットボール・バレーボール) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・安定したボール操作や状況に応じたボール操作 ・ゴールの枠内にコントロールするシュート練習 ・チームの作戦に応じたゲーム練習	(知識・技能) バスケットボール・バレーボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 (思考・判断・表現) 体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。	○	○	○	10	

		(態度) 分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。			合計
					105

府中西 高等学校 令和8年度（1学年用）

保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 8組

教科担当者：（1,2,4,6組：廣中）（3,5,7,8組：浅井）（1,2,3,4組取出：坂本）

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】現代社会と健康について理解することができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】課題を発見し、解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを説明することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会と健康に関するさまざまな事象や問題点について理解している。	現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解することができるようにする。	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた	国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6	
	健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解することができるようにする。	生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康	健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8	
2 学 期	喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解することができるようにする。	喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康	喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7	
	精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解することができるようにする。	精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復	精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7	
3 学 期	感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解することができるようにする。	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防	感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6	
	健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び健康づくりが関わっていることを理解することができるようにする。	健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり	健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び健康づくりが関わっていることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4	
							合計	32

府中西 高等学校 令和8年度(1学年用)教科

芸術 科目 音楽 I

教科: 芸術

科目: 音楽 I

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 8 組

教科担当者: (1組: 横井明子) (2組: 横井明子) (3組: 横井明子) (4組: 横井明子) (5 6組: 横井明子) (7 8組: 横井明子)

使用教科書: (「高校生の音楽 1」教育芸術社)

使用教材: (自作作成プリント)

単元の目標:

【知識及び技能】 芸術に関する科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 想像的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養い、豊かな情操を培う。

単元の評価規準:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。

実施予定: 4 月 2 週 ~ 3 月

	具体的な指導目標	指導項目・内容	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)						
							1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組
1 学 期	<p>歌唱</p> <p>【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歌唱に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。</p> <p>器楽</p> <p>【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。</p>	<p>歌唱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発声法 ・読譜 ・表現の工夫 <p>①校歌</p>	<p>器楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奏法の基本 ・読譜 ・表現の工夫 <p>①ハ長調のメロディー</p>	○	○	○	観察	4/15	4/14	4/30	4/17	4/30	4/15
				○	○	○	観察	4/22	4/21	5/7	4/24	5/7	4/22
				○	○	○	観察 実技テスト	5/13	4/28	5/14	5/1	5/14	5/13
				○	○	○	観察 実技テスト	5/27	5/12	5/28	5/8	5/28	5/27
				○	○	○	観察 発表演奏	6/10	5/19	6/11	5/15	6/11	6/10
				○	○	○	観察 発表演奏	6/17	5/26	6/18	5/29	6/18	6/17
				○	○	○	観察 発表演奏	6/24	6/2	6/25	6/12	6/25	6/24
				○	○	○	観察 実技テスト	6/9	7/9	6/19	7/9		
				○	○	○	観察 実技テスト	6/16		6/26			
				○	○	○	観察 発表演奏		6/23				
○	○	○	観察 発表演奏		7/7								

2 学 期	第 2 4 3 時	<p>歌唱 【知識及び技能】 様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解し、他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫ができる。</p> <p>器楽 【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。</p>	<p>歌唱 ・発声法 ・読譜 ・表現の工夫 ・アンサンブルの基本</p>	<p>器楽 ・奏法の基本 ・読譜 ・表現の工夫 ・アンサンブルの基本</p>	○ ○ ○	観察 発表演奏	9/9	9/8	9/3	9/4	9/3	9/9
	第 2 6 5 時				○ ○ ○	観察 発表演奏	9/30	9/29	9/17	9/18	9/17	9/30
	第 2 8 7 時				○ ○ ○	観察 発表演奏	10/7	10/6	9/24	9/25	9/24	10/7
	第 3 2 0 時				○ ○ ○	観察 発表演奏	10/14	10/13	10/8	10/2	10/8	10/14
	第 3 1 時				○ ○ ○	観察 発表演奏	10/28	10/27	10/15	10/9	10/15	10/28
	第 3 4 3 時				○ ○ ○	観察 発表演奏	11/4	11/10	10/29	10/16	10/29	11/4
	第 3 3 5 時				○ ○ ○	観察 発表演奏	11/11	11/17	11/5	10/30	11/5	11/11
	第 3 3 7 時				○ ○ ○	観察 実技テスト	11/18	11/24	11/12	11/6	11/12	11/18
	第 4 0 9 時				○ ○ ○	観察 実技テスト	11/25	12/8	11/19	11/13	11/19	11/25
	第 4 2 1 時				○ ○ ○	観察 発表演奏	12/9	12/15	11/26	11/27	11/26	12/9
第 4 4 3 時	○ ○ ○	観察 発表演奏	12/16	12/22	12/10	12/11	12/10	12/16				
第 4 4 5 時	○ ○ ○	観察 意見発表			12/17		12/17	12/17				
3 学 期	第 4 4 7 時	<p>創作 【知識及び技能】 音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫する。</p> <p>鑑賞 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に音楽作品を味わう。</p>	<p>歌唱 ・発声法 ・読譜 ・表現の工夫 ・アンサンブルの基本</p>	<p>鑑賞 ・楽曲の構成を理解して聴く。</p>	○ ○ ○	観察 発表演奏	1/19	1/16	1/14	1/22	1/13	1/16
	第 5 0 9 時				○ ○ ○	観察 意見発表	2/2	1/23	1/21	1/29	1/20	1/30
	第 5 2 1 時				○ ○ ○	観察 発表演奏	2/9	1/30	1/28	2/5	2/3	2/6
	第 5 5 3 時				○ ○ ○	観察 意見発表	2/16	2/6	2/5	2/12	2/10	2/13
	第 5 5 5 時				○ ○ ○	観察 発表演奏	3/9	2/13	2/12	2/26	2/17	2/27
	第 5 5 7 時				○ ○ ○	観察 意見発表	3/16	2/20	2/19	3/12	3/10	3/13
	第 6 5 0 時				○ ○ ○	観察 発表演奏		2/27	3/11		3/17	
	第 6 2 1 時				○ ○ ○	観察 意見発表		3/13	3/18			

府中西 高等学校 令和8年度 (1学年用) 教科 芸術 科目 美術 I

教科: 芸術 科目: 美術 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1組 ~ 8組

教科担当者: (1組: 菅野綾 2~6組: 町田法生 7、8組: 菅野綾)

使用教科書: (「高校生の美術 1」 日本文教出版株式会社)

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】芸術に関する科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】想像的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ ザ イ ン	映 画					
1 学 期	A 単元:リネーション、鑑賞、素描 【知識及び技能】 グレースケールの明暗表現の理解。 【思考力、判断力、表現力等】 素描を行う上で必要な基礎的な事項について理解し、立方体や球体などの立体的な表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 明度の段階が感覚で覚えられる。	・指導事項:鑑賞、素描基礎 ・教材:教科書、自校作成プリント	○			【知識・技能】 グレースケールの明暗表現の違いが理解できる。 【思考・判断・表現】 光の方向と、調子の流れを認識し、大まかな明暗表現が始められる。 【主体的に学習に取り組む態度】 明暗表現にタッチの表現を組み合わせることができる。	○	○	○	4
	A 単元:素描 【知識及び技能】 素描制作における構図についての理解をスケッチを通して考える。 【思考力、判断力、表現力等】 鉛筆の使い方の工夫について、様々なタッチによる表現を試す。 【学びに向かう力、人間性等】 明度の段階が感覚で覚えられる。	・指導事項:鑑賞、素描基礎 ・教材:教科書、自校作成プリント	○			【知識・技能】 対象物の捉え方、構図について理解し、スケッチから本画へ取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 素描を行う上で必要な基礎的な事項について理解し、立体的な表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 鉛筆の使い方の工夫について、様々なタッチによる表現を試すことができる。	○	○	○	10
	A 単元:着彩 【知識及び技能】 自然の造形物の特徴を観察し構成・表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの形態の違いを意識し表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 全体のバランスをみて調節し、完成させる。	・指導事項:着彩 ・教材:教科書、自校作成プリント	○			【知識・技能】 立体表現の基礎としての明暗表現ができ、調子の流れを見つけることができる。 【思考・判断・表現】 光の透過性や反射、テクスチャーの違いの素描表現をタッチや筆圧など様々な鉛筆の表現を組み合わせ試すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象を深く観察し、新鮮な発見や感動を引き出すことができた。	○	○	○	10
2 学 期	A 単元:着彩 【知識及び技能】 自然の造形物の特徴を観察し構成・表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの形態の違いを意識し表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 全体のバランスをみて調節し、完成させる。	・指導事項:着彩 ・教材:教科書、自校作成プリント	○			【知識・技能】 立体表現の基礎としての明暗表現ができ、調子の流れを見つけることができる。 【思考・判断・表現】 光の透過性や反射、テクスチャーの違いの素描表現をタッチや筆圧など様々な鉛筆の表現を組み合わせ試すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象を深く観察し、新鮮な発見や感動を引き出すことができた。	○	○	○	4
	A 単元:デザイン 【知識及び技能】 日常生活でのデザインの役割を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 インテリアデザインについての理解。透視図法による空間表現。 【学びに向かう力、人間性等】 理想の空間を想像し、表現する。	・指導事項:透視図法 ・教材:教科書、自校作成プリント	○		○	【知識・技能】 空間表現の基礎としての透視図法における作図ができる。 【思考・判断・表現】 奥行きの等分割など様々な作図の表現を組み合わせ試すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 透視図法を理解し、空間を描くことで新鮮な発見や感動を引き出すことができた。	○	○	○	20

府中西 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅠ 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：（1・2組：木住野、浅中、迎）（3・4組：左々、木住野、迎）（5・6組：左々、浅中、迎）（7・8組：木住野、左々、浅中）

使用教科書：（Power On English CommunicationⅠ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 英語の発音や語彙、表現・文法・言語の働きなどの理解を深め、適切に活用する技能をつける。

【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面に応じて適切な方法でコミュニケーションをとることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化を理解し、外国語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語い、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付ける。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	<p>【題材内容】 外国からの観光客に人気の体験型ツーリズムを紹介するALTの話を理解する。</p> <p>【言語の働き】 質問する、説明する、発表する</p>	<p>Lesson 1 Japan's New Tourism 【言語材料】 動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形 【その他副教材】・Focus On Listening Elementary・速読英単語(入門編)</p>	<p>【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかり、主に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。</p>	○	○	○	10
	<p>【題材内容】 生き物が光る理由や、その光が医療研究に利用されていることに関する生徒による発表を理解する。</p> <p>【言語の働き】 質問する、説明する、理由を述べる、発表する</p>	<p>Lesson 2 Light from Creatures 【言語材料】 受け身、現在完了形、現在完了進行形 【その他副教材】・Focus On Listening Elementary・速読英単語(入門編)</p>	<p>【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかり、主に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。</p>	○	○	○	10
	<p>【題材内容】 スポーツライマーである野口選手のインタビューを理解する。</p> <p>【言語の働き】 質問する、説明する、理由を述べる、助言する、紹介する、発表する</p>	<p>Lesson 3 Routes to the Top 【言語材料】 動名詞、不定詞、S+V+O [that節] 【その他副教材】・Focus On Listening Elementary・速読英単語(入門編)</p>	<p>【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかり、主に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。</p>	○	○	○	10
	<p>【題材内容】 日本のマンガの形式やその翻訳に関する留学生による発表を正しくとらえる。</p> <p>【言語の働き】 質問する、助言する、説明する、賛成する、理由を述べる</p>	<p>Lesson 4 Left to Right, Right? 【言語材料】 後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級 【その他副教材】・Focus On Listening Elementary・速読英単語(入門編)</p>	<p>【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかり、主に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。</p>	○	○	○	10
2 学 期	<p>【題材内容】 ザンビアのパナナの茎から作られるバナナペーパーへの日本の伝統技術貢献に関する講義、知識を深める。</p> <p>【言語の働き】 質問する、説明する、理由を述べる、誘う</p>	<p>Lesson 5 Banana Paper Lesson 6 Patterns in Human Behavior 【言語材料】 関係代名詞（主格）、関係代名詞（目的格）、S+seem+to不定詞、It+be動詞+形容詞+that節、S+V [be動詞以外+C]、S+V+O+C [形容詞] 【その他副教材】・Focus On Listening Elementary・速読英単語(入門編)</p>	<p>【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかり、主に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。</p>	○	○	○	16
	<p>【題材内容】 プラスチックがもたらす環境破壊に関する論説文を読み、まとめる。</p> <p>【言語の働き】 質問する、理由を述べる、描写する、説明する、発表する、報告する</p>	<p>Lesson 7 No Plastic or No Future 【言語材料】 関係副詞where、関係副詞when、関係代名詞what 【その他副教材】・Focus On Listening Elementary・速読英単語(入門編)</p>	<p>【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかり、主に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。</p>	○	○	○	16

3 学 期	<p>【題材内容】 イギリス人ALTによるフィッシュ・アンド・チップスの歴史と食料資源に関する発表を理解する。</p> <p>【言語の働き】 質問する，説明する，報告する，発表する</p>	<p>Lesson 8 Oh My Cod! 【言語材料】 現在分詞の分詞構文，関係代名詞の非制限用法，過去完了形 【その他副教材】・Focus On Listening Elementary ・速読英単語(入門編)</p>	<p>【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。</p>	○	○	○	10	
	<p>【題材内容】 世界中の若者の中で人気が出てきているeスポーツの実況中継を正しくとらえる。</p> <p>【言語の働き】 質問する，理由を述べる</p>	<p>Lesson 9 Is E-sports a Real Sport? [言語材料] S+V [知覚] +O+ [現在分詞，原形不定詞]， S+V [使役] +O+C [原形不定詞]， S+V+O₁+O₂ [if などの節] 【その他副教材】・Focus On Listening Elementary ・速読英単語(入門編)</p>	<p>【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。</p>	○	○	○	11	
							合計	
							93	

府中西 高等学校 令和8年度 (1学年用) 教科 英語 科目 論理表現 1

教科: 英語 科目: 論理表現 1 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 8 組

教科担当者: (1組: 木住野・清水) (2組: 左々・浅中) (3組: 左々・浅中) (4組: 木住野・清水) (5組: 迎・清水) (6組: 木住野・清水) (7組: 迎・浅中) (8組: 木住野・清水)

使用教科書: (Vision Quest Logic and Expression I Standard)

教科 英語 の目標:

【知識及び技能】 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解する。目的や場面、状況に応じて自分の意見や主張などを論理や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 目標や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、話すことや書くことができる。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手などを他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとする。

科目 論理表現 1 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・英語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する。 ・英語の技能（話すこと・書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。	・場面、目的、状況等に応じて、日常的、社会的な話題について、情報や考えなどを英語で的確に理解したり適切に伝えることができる。 ・自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現することができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手などを他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・紹介についての表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	lesson 1 I want to introduce my new friend. 〔文法事項〕 様々な疑問文、命令文、感嘆文	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話や発言などにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。	○	○	○	6
	・学校生活についての表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 2 Do you want to join our show? 〔文法事項〕 5文型、”There+be動詞+主語”の構文	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話や発言などにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる	○	○	○	6
	・旅行についての表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend. 〔文法事項〕 基本時制	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。	○	○	○	6
	・趣味や関心のあることについての表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 4 Have you ever tried it before? 〔文法事項〕 現在完了、過去完了、未来完了	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。	○	○	○	6

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・将来や進路についての表現を学ぶ。 ・日常生活における生徒同士の会話や、自分の感情についての表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。 	lesson 5 What do you want to do after school? Lesson6 Did you hear about the new shop? [文法事項] 助動詞 受動態	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。	○	○	○	12	
	<ul style="list-style-type: none"> ・パーティー会場における会話や自分の感情についての表現を学ぶ。 ・スポーツをしている時の会話や健康に関する表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。 	Lesson 7 I'm happy to have you with us. Lesson 8 What sport do you like playing? [文法事項] 不定詞 動名詞	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。	○	○	○	12	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアを通じたコミュニケーションや、情報を加えて詳しく表現する方法を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。 	lesson 9 Digital media has come a long way. [文法事項] 分詞	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。	○	○	○	6	
	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化紹介における表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。 	Lesson 10 That's why I decided to go back. [文法事項] 関係詞	【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。	○	○	○	6	
							合計	60

府中西 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

情報

科目 情報 I

教科： 科目： 情報 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 高等学校 情報 I 第一学習社 ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題を発見・解決する力を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を習得する。

【学びに向かう力、人間性等】情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を身につける。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	第4章 情報通信ネットワークとデータの活用 ・情報通信ネットワークのしくみ	IDとパス 印刷 共有フォルダへの保存 Oneドライブへの保存 フリーメールとGmailアカウント登録 iPadを使用 名前記入、シリアルNo確認、iPadの使い方、Wi-Fi接続、appleIDの登録と確認 Google Chromeのインストール Office365とTeamsのインストール ストレージ容量、携帯を使ってWi-Fi接続 Office365のアカウントログイン	・パソコン室、個人端末、スマートフォンとの連携がとれるか。 ・ファイルやデータの管理ができるか ・メールや共有フォルダ、投稿など情報データの出入力が自在にできるか	○		○	10	
	・情報システムとデータ管理 ・データの分析と活用	Teamsの使い方 Teamsのインストールと使い方 Google Chromeのインストール、検温システム、オンライン受講、課題の受取、Form送信 毎日パソコンタイピング入力(オンライン) メール、情報の収集と整理 タイピング、共有とクラウド環境、オンライン英語教材(英検CAT、ABLish)、	・課題をオンラインで受講し、課題提出できるか。 ・オンラインソフトの活用ができるか。必要な情報のみを抽出して活用できるか。	○		○	15	
	第1章 情報社会の問題解決 ・情報の活用 ・情報モラル	メール、コミュニケーション、データ活用 教科学習 個人情報保護、SNSとモラル	情報に対する正しい判断力があるか 必要な情報を取り出し生かせることができるか。	○	○	○	10	
2 学 期	・情報に関する法規や制度	肖像権、知的財産権、著作権、iPadの活用(各種検索)、Teamsの活用(Class Notebookを使つての提出、Oneドライブの共有)	簡単な表計算、プレゼンテーション、文書作成をおこない、クラスノートブックとの連携をはかる。	○	○	○	10	
	第2章 コミュニケーションと情報デザイン ・コミュニケーション手段の特徴 ・情報デザイン ・コミュニケーションと効果的なデザイン	iPadの活用(各種検索)、Teamsの活用(Class Notebookを使つての提出、Oneドライブの共有) 効果的に情報を伝えるためのメディアを作成する。	ピクトグラム、ユニバーサルデザインなど作成物で評価する。	○	○	○	10	
3 学 期	第3章 コンピュータとプログラミング ・コンピュータのしくみと働き ・モデル化とシュミレーション ・プログラムと問題解決	webページ作成、プログラミング(ブラウザ)、画像加工、Adobe Creative Cloud Express、2進数と16進数	ブラウザによるパイソンを中心としてプログラミングを行う。 課題解決にプログラミングをどのように利用していくか	○	○	○	15	
							合計	70